持続可能な観光のためのビジネス標準の取組の具体化

2023年3月16日 第10回UN/CEFACT観光部会 持続可能な観光のためのビジネス標準検討プロジェクト資料

国連/CEFACT-持続可能な観光のためのビジネス標準ホワイトペーパー

持続可能な観光のためのビジネス基準の貿易円滑化と電子ビジネスのための国連センター(UN/CEFACT)への技術的運用に関するホワイトペーパーを提出した。

発信元: 旅行及び観光プロジェクトチーム

活動成果: 公開レビュー用ドラフト

日付: 2022年11月15日

ステータス: ドラフト 第7.2版

目次: 1. はじめに

2. 目標と範囲

3. 持続可能な観光に関するビジネス基準

4. 国連CEFACTに向けて提案された方法

5. 評価システム

6. 将来の機会とリスク

1. 持続可能な観光を可能にするビジネス基準作成の流れ

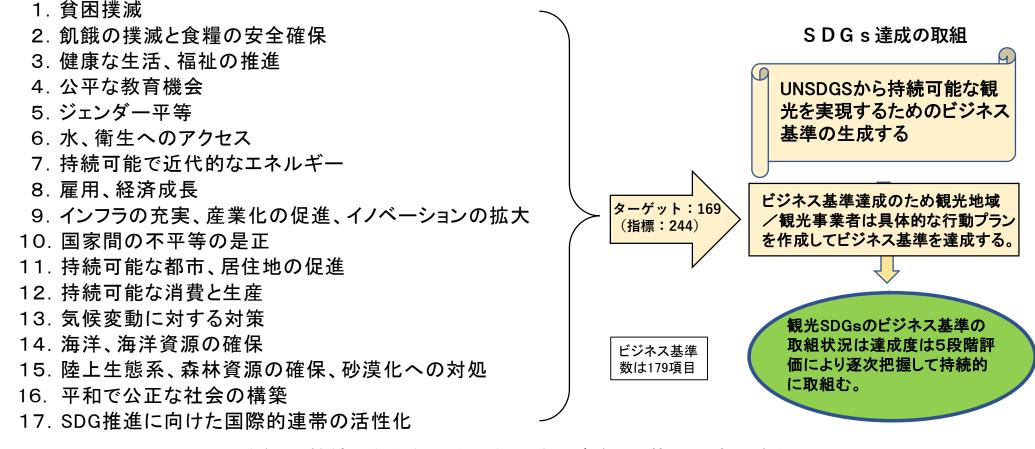
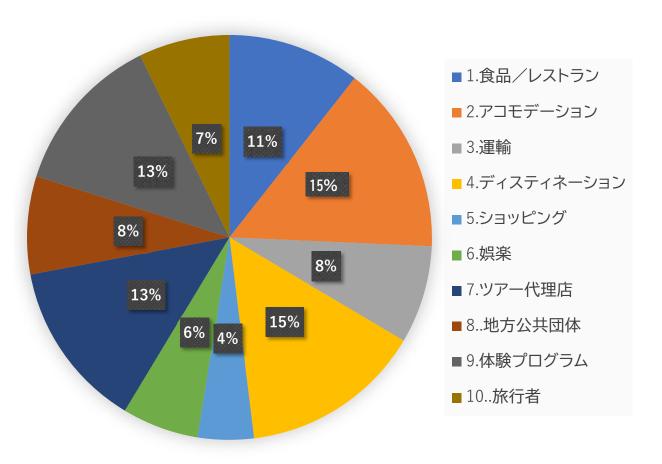


図-1 持続可能な観光を可能にするビジネス基準作成の流れ

1-2. SDGs絡みた観光セクター別のビジネス基準数 グラフ(参考資料)



見光セクター カテゴリー名	ビジネス基準数
食品/レストラン	19
アコモデーション	27
運輸	14
ディスティネーション	26
ショッピング	8
娯楽	11
ツアー代理店	24
地方公共団体	14
体験プログラム	23
旅行者	13
ビジネス基準数の合計	179
	アコモデーション 運輸 ディスティネーション ショッピング 娯楽 ツアー代理店 地方公共団体 体験プログラム 旅行者

図-2 観光セクター・カテゴリー別のビジネス基準数の分布

2. UNSDGsの持続可能な旅行・ビジネス標準取組の流れ

持続可能な観光の取組対 象はUNSDG s _STEP-0

UN SDG s

目標: 17,ターゲット: 169

SDG s 成果の

継続的推進 _STEP-5

旅行・観光のSDG s 取組 成果を適時公表して取引 や旅行・観光分野等に活 用してSDG s によるさら なる持続化向上を推し進 める。(旅行者、観光事 業者間が共に透明性を高 めて情報活用に取組む) 持続可能な観光実現に向けた ガイドラインを定めるSTEP-1

持続可能な旅行・観光が取組むべき目標・ターゲットを抽出して観光関連のガイドライン(ビジネス基準)を作成する。

取組の成果を評価する

行動リストを実施した達成状況をを簡便な達成度評価基準により取組現状を確認・評価する。(携帯端末等による様々な活用等)更に持続化を迅速に推進して旅行・観光の実現を達成する。未達成の場合は、継続実施・行動リストを見直しさらなる改善に取組む。達成度評価基準は別紙の説明資料を参照。(達成度評価手法の標準化)

ST取組対象を4分野に 分けて取組む_STEP-2-1

地球環境及 地域コミュ コティの発 の維持 展推進

観光産業の 推進:発展 文化・文化 財の永久的 保存維持

持続可能な観光の取組分類

取組対象を適用10分野の 取組に分類 STEP-2-2

- 1.食品/レストラン 2.アコモデーション
- 3.運輸
- 4.ディスティネーション
- 5.ショッピング
- 6.娯楽
- 7.ツアー代理店
- 8..地方公共団体
- 9.体験プログラム
- 10..旅行者

行動プラン作成・実施



STEP-3



各分野の担当者は、旅行・観光のSDGsの持続化を目指して行動するため、具体的にビジネス基準達成のための取組べき標準的な行動プラン(インデックス)により作成してSDGs達成の行動に取組む。

図-3 UNSDGsの持続可能な旅行・観光の具体化取組の流れ

3. 観光のビジネス基準「行動プラン作成」のインデックスの標準化のあり方

持続可能な観光のビジネス基 準取組の標準化に向け、行動 プランインデックスを導入する



インデックス提案の考え方(案)

防ぐ



ビジネス基準取組の行動 プラン(インデックス)は具体 的な実業の調査検討が必要 であり検討イメージである。

区分	ビジネス基準の指針	ビジネス基準取組プラン (観光事業者が自ら定める)
Α	持続可能な社会を創る	QOL・経済、ジェンダー平等、健康・福祉・教育
В	地球温暖化を防ぐ	気候変動対策・適応、産業・技術革新、省エネ
С	野生生物を守る	生物の多様性・保全
D	自然環境を守る	自然遺産、森林地、漁場、耕作地、環境汚染(水質・土壌汚染等)
Е	海洋汚染を防ぐ	海洋ゴミ、水質汚染
F1	観光資源を守る -1	文化財、博物館、文化施設・神社、仏閣、庭園
F2	観光資源を守る -2	自然公園、森林、公園、水資源、文化施設
F3	観光資源を守る -3	年中行事、民芸、郷土芸能
	旅行者が守る UNWTO:責任のある旅行者になる ための ヒント から引用 Tips for a esponsible Traveler)	 ① その土地の環境に配慮した旅行消費の利用 ② 自然環境への負荷軽減を意識した行動 ③ 地元産品の消費や購入 ④ ソーシャル・ディスタンスの実践と混雑の回避 ⑤ 訪問地の文化や慣習、マナーなどの尊重、ガイドの利用等による訪問地に関する深い知識の習得 ⑥ 旅行先でのポジティブな経験の発言

図-4 ビジネス基準達成「行動プラン」のインデックス化の検討課題

Oおわりに

観光産業の構造は形態及び個々の規模が様々であり、観光地などの地域の状況も様々であります。 世界的に事業者規模や事業者数も多く、観光産業構造も先進国と観光途上国など産業形態も様々に活動しています。また、その経済的な規模は(ホワイトペーパーの「1.はじめに」で記述したように)国連世界観光機関(UNWTO)の2016年の年次報告書では、2016年の1年間の国際観光客は12億3,500万人に達し、過去7年間の年率4%の継続的な成長と言われています。この現状から鑑みてUNSDGsに対する取り組みによる効果も大きく影響の大きい産業と言えます。

このような認識に立って今回提案する持続可能な観光のビジネス基準は観光のセクター全てが共通したアジェンダ2030に取組、地球規模での持続化と達成は観光が担う大変重要なミッションと考えてます。 STプロジェクトのホワイトペーパーの標準的な実施可能性への取り組みには観光産業分野の情報環境のさらなる向上に適合と合わせて環境や社会に配慮したモデルの実現として同時開発のEps TAプロジェクトと連携を含めホワイトペーパー最終章の機会とリスクの課題克服に向けた取組に繋げればと考えおります。